

石田東生  
筑波大学  
システム情報系 社会工学域  
教授



筑波大学システム情報系社会工学域の教授である石田博士は、交通計画、インフラ政策策定（国土計画、都市計画）、政策策定とモニタリングのための移動調査を研究領域としている。

1951年に大阪に生まれ、東京大学工学部を卒業している。1982年に東京大学より博士号を取得している。

1978年に東京工業大学にて助手となり、1982年に着任した筑波大学にて1996年に交通計画の教授に任命された。筑波大学ではまた、2007年から2012年までの間、教育刷新のための学長補佐を務めている。

国土交通省の社会資本整備審議会での道路政策、経済産業省の産業構造審議会でのCO2削減政策、内閣府での総合科学技術イノベーション会議での科学・技術開発戦略などの領域で、日本政府の公共政策の発展に貢献してきている。